

自助・共助・公助の連携で
命を守ろう

FURUKAWA
ELECTRIC GROUP



国立大学法人京都大学
防災研究所
畑山 満則 教授 監修

みんなサポート

災害時に
問い合わせが多い



こんな
お困りごと
ありませんか!

自治体

住民



いつ避難すれば
よいかわからない



避難指示を
出しても、住民の
避難に繋がらない



災害時に備えて
近所の方とのコミュニ
ケーション手段が欲しい



住民や地域コミュニティが自発的に行動し、
自治体と連携して災害に備えてほしい



 みんなサポート

で発展しつづける
防災コミュニティを支援します!



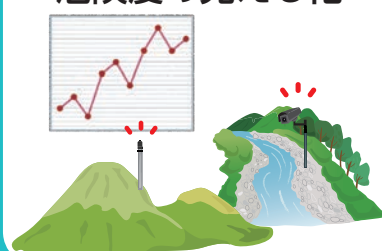
災害の自分事化



防災コミュニティ
の形成



土砂災害の
危険度の見える化



取り組みを地区防災計画に反映

防災アプリ



- ・ペットボトル雨量計を用いた雨量データの投稿
- ・地域住民のグループチャット
- ・各種データの閲覧
(雨量データ、IoTセンサ)

防災ワークショップ



年3回実施

- ・防災アプリ導入支援
- ・わが家の避難計画作成支援
- ・地区防災計画作成支援

IoTセンサ

地域内の山の斜面や
河川にセンサを設置

土壌水分センサ



斜面の土壌含水率を計測

河川レーダ（開発中）

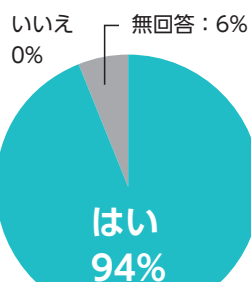


河川の水位と流速を計測

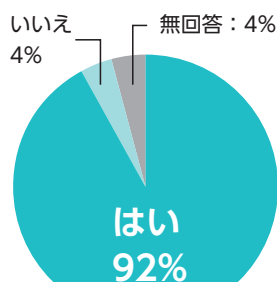
実証実験後のアンケート結果

2022年度は全6地区で実施しました。(N=65)

Q1. 防災意識は高まりましたか？

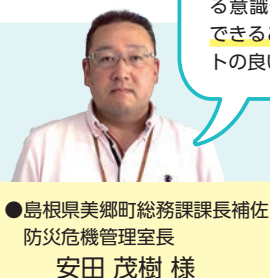


Q2. 地域コミュニティは活発になりましたか？



参加住民の声

- ・いざという時に備えて近隣の方との話し合いや意識の共有は大切だと思った。
- ・自分の地区の雨量の観測値が把握できることはとても貴重だと思う。
- ・地域の防災について、よりリアルに考えることができる。



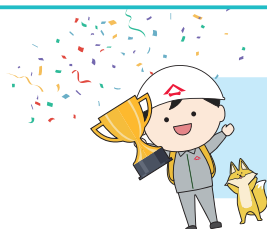
●島根県美郷町総務課課長補佐
防災危機管理室長
安田 茂樹 様

住民に対して「防災」に関する意識付けと「我が事化」ができることが、みんなサポートの良いところだと思う。



●沢谷交流センター所長
沢谷地域連合自治会事務局長
渡邊 泰文 様

実証実験を実施して良かったと考えている。来年も取り組みを続け、他の地域にも広めていきたい。



みんなんサポート®が

「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2023」で優良賞を受賞しました。
「2023 防災・減災×サステナブル大賞」でカンパニー部門ジャパン賞を受賞しました。

古河電気工業株式会社

<https://www.furukawa.co.jp/>

研究開発本部 サステナブルテクノロジー研究所新領域育成部

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野 2-4-3

(045) 311-1324 担当：成井 公一

fec.smartvillage@furukawaelectric.com

・このカタログの内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
・このカタログに記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

輸出管理規制について

本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国輸出管理規則（EAR：Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省 または 米国商務省へお問い合わせください。



「みんなんサポート®」キャラクター
にげろう&コンちゃん